

第59期 株主通信

2023.4.1 ▶ 2024.3.31

Powering the world with passion.

人の鼓動、もっと社会へ。

Change & Challenge for Smile

株主の皆さま、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第59期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の業績についてご報告いたします。

第59期のご報告

当連結会計年度につきましては、IT関連事業(システム開発事業、サポート&サービス事業)において業務領域が拡大したこと、また、パーキングシステム事業において駐輪場利用料収入が増加したことなどにより、前年同期比で増収増益となり、売上高は、25,481百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益2,115百万円(前年同期比76.9%増)、経常利益2,140百万円(前年同期比76.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,387百万円(前年同期比106.4%増)となりました。なお、当第4四半期連結会計期間より2023年12月に子会社化した株式会社ジャパンコンピューターサービス(以下、JCS)の損益を取り込んでおります。

当期の期末配当につきましては、連結業績等を総合的に勘案し、連結配当性向30%以上を目安に、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針とした株主還元方針を踏まえ、普通配当を1株当たり34円といたしました。これにより、当期の年間配当は、既に実施済みの中間配当16円と合わせ、1株当たり50円となります。

今後の見通し

IT関連事業では、人手不足等を背景とした業務効率化ニーズに加え、金融・製造業などにおいてDX市場のさらなる拡大が見込まれ、クラウドやAIなどの先端IT需要の増加が予想されます。クラウド関連の資格取得や研修等を通じた人材育成、即戦力となる中途採用の強化、ニアショア活用、JCSとのシナジー創出などに注力す

ることで、今後も顧客ニーズの多様化に柔軟に対応してまいります。また、顧客のITライフサイクルを包括的にサポートするITフルアウトソーシングの推進などにより、引き続き既存顧客の領域拡大および新規顧客の獲得に取り組んでまいります。

パーキングシステム事業では、感染症が収束し、テレワークが一定程度定着した中でも駐輪場利用は堅調に推移しており、料金改定の順調な進捗もあって、駐輪場利用料収入は感染症拡大前の水準を上回って推移しています。また、自治体戦略に伴う不採算案件からの撤退などにより、一時的には駐輪場管理台数は減少するものの、収益性のさらなる向上を見込んでおります。人手不足を補う月極駐輪場管理システム「ECOPOOL」の鉄道会社等への導入や、継続的な料金改定の実施、駐輪場運営のDX化などに注力するとともに、子会社との連携強化による多様なモビリティに対応する次世代駐輪場の拡大など、サービスの高付加価値化に取り組んでまいります。

このような中、当社グループは最近の業績の動向を踏まえ、中期経営計画「Vision2026」における最終年度の目標数値を修正いたしました。詳細につきましては、5月13日発表の「中期経営計画の目標数値の見直しに関するお知らせ」をご参照ください。



代表取締役社長 下條 治

Vision2026

Medium-term management plan

2026年3月期
の財務目標
(修正計画)グループ連結
売上高

300 億円

営業利益

24 億円

営業利益率

8.0 %

ROE

20 %以上

基本
方針

- ✓ 既存ビジネスの付加価値向上と新しいビジネスの創出による更なるNCDバリューの追求
- ✓ 企業価値向上に向けた経営基盤の強化
- ✓ 最適なグループ事業体制の再構築

株主
還元方針

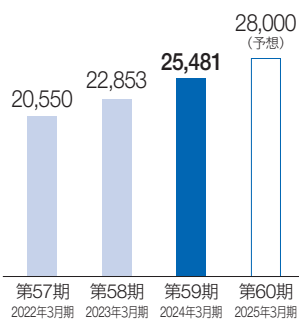
連結配当性向 30 %以上

中期経営計画の目標数値の見直しに関するお知らせ <https://ssl4.eir-parts.net/doc/4783/tdnet/2436161/00.pdf>

決算ハイライト

売上高

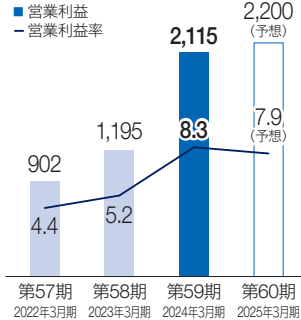
(百万円)



営業利益 営業利益率

(百万円)

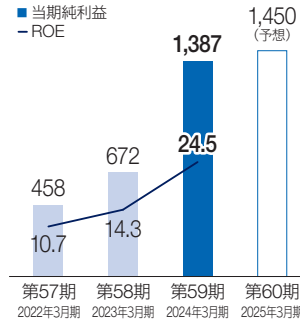
(%)



当期純利益 ROE

(百万円)

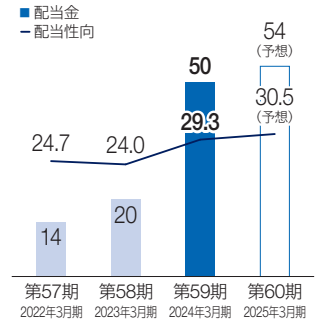
(%)



配当金 配当性向

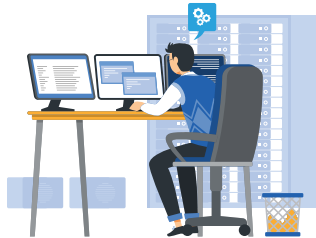
(円)

(%)



主要セグメント別概況

システム開発事業



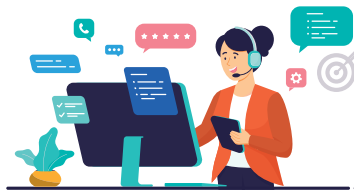
NCD、NCDソリューションズ、NCDテクノロジー、
ジャパンコンピューターサービス、NCD CHINA

主要な サービス

- ・システム構築ソリューション
- ・パッケージソリューション
- ・アプリケーション保守・運用ソリューション

保険会社の新商品のシステム開発案件や製造業の基幹システム刷新案件における業務領域が拡大し、堅調に推移したことなどにより、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、各種プロジェクト管理が順調で利益を拡大できたことや、主にアプリケーションの保守業務においてNCDサービスモデルへの移行が進み収益性が向上したことなどにより、前年同期比で大幅な増益となりました。

サポート&サービス事業



NCD、NCDソリューションズ、NCDテクノロジー、
ジャパンコンピューターサービス

主要な サービス

- ・インフラ構築ソリューション
- ・インフラ保守・運用ソリューション
- ・業務サポートソリューション

保険会社のクラウド関連等の業務領域が拡大したことなどにより、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、各種プロジェクト管理が順調であることや、NCDサービスモデルへの移行に伴いマネージドサービスセンターを活用した効率的な運用が実現していることから、前年同期比で増益となりました。

パーキングシステム事業



NCD、NCDプロス、NCDエスト

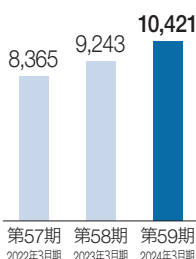
主要な サービス

- ・駐輪場の設営・運営・管理受託
- ・駐輪場管理システムの販売および運営
- ・自転車関連の総合コンサルティング

感染症に係る各種規制の緩和に加え、天候に恵まれたことにより外出機会が増え、主に時間貸駐輪場の利用が増加しました。また、引き続き自営駐輪場を中心に料金改定を推進し、駐輪場利用料収入が感染症拡大前の水準を大きく上回って推移し、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、駐輪場利用料収入の大幅な増加を受け、駐輪場の採算性が大きく改善したことや、グループ子会社を活用した外部委託業務の内製化に努めたことなども寄与し、前年同期比で大幅な増益となりました。

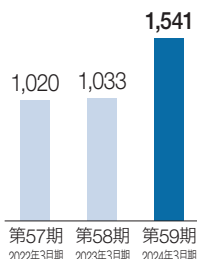
売上高

(単位: 百万円)



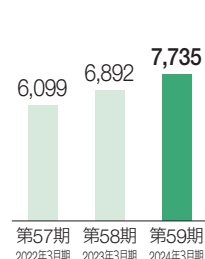
セグメント利益

(単位: 百万円)



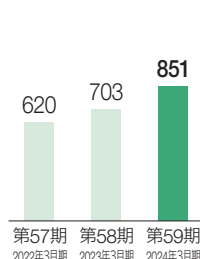
売上高

(単位: 百万円)



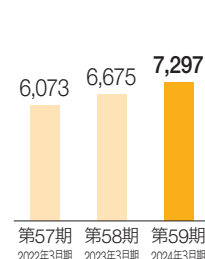
セグメント利益

(単位: 百万円)



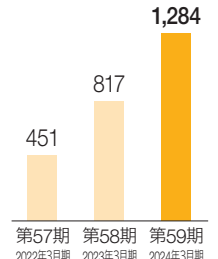
売上高

(単位: 百万円)



セグメント利益

(単位: 百万円)





NCD LAB

Laboratory

メディア出演の中で取り上げられた話題や、株主・個人投資家の皆さまから頂いたご質問の中から、当社社長の下條がお答えいたします。

Q

パーキングシステム事業の今後の見通しを教えてください。

A

放置自転車が発生しやすい都市部の市場は飽和に向かっているものの、都市再開発に係る駐輪場附置義務による新規需要や、人手不足を追い風とした駐輪場のDX需要、老朽化した機器の入替需要など、今後もビジネスの機会は発生していくため、業界トップクラスの実績と財務健全性を強みとして、「ECOPOOL」をはじめとした当社無人駐輪場システムのさらなる拡大、また、中長期的には利益率を重視した着実な規模の拡大を継続していけるものと見込んでおります。

Q

新規事業創出の進捗はどうですか?

A

新規事業アイデア公募制度「co-do (鼓動) project」を開始し、昨年度は13件の事業アイデアの応募がありました。プレゼン選考会の結果、最優秀賞に選ばれた事業アイデアについては、事業計画のさらなる具体化に向けて、事業の実現可能性および効果等の検証を行うプロセス(PoC)に進んでいます。IT関連事業、パーキングシステム事業に続く第3の柱となるような新規事業を創出できるよう、引き続き取り組んでまいります。



Q

新卒を含めた人材の獲得は順調でしょうか?

A

新卒採用は概ね計画通りに進捗し、2024年4月には当社単体で約50名、グループ全体で80名以上の新入社員を迎えることができました。中途採用については、採用広報やリファラル採用の強化等による即戦力人材の獲得に引き続き取り組んでいます。また、ニアショアのさらなる活用に向けた地方での採用活動も積極的に行っています。

Q

人的資本経営への取り組み状況を教えてください。

A

当社では「自律的なキャリア形成と対話を通じた組織風土の変革」という人材戦略の基本コンセプトを掲げ、人材開発と組織開発の両輪で人材マネジメントの変革を図っています。人材開発においては、NCDグループの求める人材像「チャレンジ精神・共創・品格」を自律的に体現し、主体的に考え行動する「セルフリーダーシップ」を発揮して成長できるよう、新人事制度の導入や、キャリア支援の仕組みづくり等に取り組んでいます。また、組織開発においては当社グループのパーパスと社員のMYパーパスとの繋がりを探索していくワークショップの実施などを通じて、エンゲージメントの向上と組織風土の変革に取り組んでいます。このような取り組みを通じて、個性を尊重し合い、切磋琢磨する組織風土を醸成し、社員一人ひとりに当社グループで働くことに幸せを感じてもらえるような、“Well-beingカンパニー”を目指していきたいと考えています。





ジャパンコンピューターサービスを子会社化

2023年12月、技術力や顧客基盤の融合による企業価値のさらなる向上を目指し、株式会社ジャパンコンピューターサービス(以下、JCS)を子会社化しました。

JCSは、1981年の創業以来、システム開発、運用・保守を一貫して行い、その安定した技術力と顧客企業からの信頼を背景に堅調な成長を続けているだけでなく、同社が展開するライフサイクルマネジメント※事業においては独自のキッティングセンターを運営するなど、NCDグループの事業基盤の一層の拡大が図れるものと判断しています。

新たな仲間と共に、NCDグループのパーパス「人の鼓動、もっと社会へ。」をより一層実感できるよう、引き続き邁進してまいります。

※お客様のIT資産の調達から廃棄までを管理する仕組み

会社概要

社名	株式会社ジャパンコンピューターサービス
所在地	東京都千代田区神田佐久間町1-11
設立年月日	1981年3月16日
従業員数	約240名
売上高	2,446百万円(2023年9月期)
事業内容	ソフトウェア受託開発業
主要顧客	NTTコムウェア、花王、麒麟ビジネスシステム、ソフトバンク、日鉄ソリューションズ、三菱UFJ銀行、LIXIL、リコージャパン等

JCSの詳細は同社のHPをご覧ください。
<https://www.japacom.co.jp/>



02



福岡オフィスを拡張移転

2024年5月、IT関連事業における業容の拡大に伴い、福岡オフィスを拡張移転し、多くの関係者のご列席のもと、開所式を行いました。

引き続き、人材育成や採用活動の強化などによる人的資本経営への取り組みに注力するとともに、受注規模の拡大やコスト削減に向けたニアショア拠点の活用を推進してまいります。



03



キャッシュレス決済専用の精算機を開発

交通系ICカードや各種QRコード決済など、キャッシュレス決済需要の高まりに応えるため、キャッシュレス決済専用の時間貸利用精算機「ES410」を新たに開発しました。利用者の利便性向上だけでなく、従来品と比較してさらなるコンパクト化が実現できたこと、また、集金や釣銭の準備が不要となり運営コストが削減できることなどが強みです。

交通系ICカードによる精算比率が高い駅前の自転車駐輪場など、設置先のニーズに合わせて導入を進めてまいります。



04



「MEGA ドン・キホーテ 成増店」へ大型駐輪場を開設

売場面積都内最大級の新店舗「MEGA ドン・キホーテ成増店」(東京都板橋区)のオープンに伴い、同店舗の向かいに900台以上の自転車が収容可能な大型駐輪場を開設しました。

周辺は子育て世代が住む集合住宅が多く、移動手段に自転車を利用する方が多い地域であること、また、東武東上線「成増駅」および東京メトロ副都心線・有楽町線「地下鉄成増駅」にほど近い立地から、同店舗をご利用の方はもちろんのこと、通勤・通学利用の方も含め、多くの方にご利用いただけることを見込んでいます。

また、NCDは板橋区において自転車駐車場の指定管理者として選定されており、周辺の放置自転車対策業務に精通しています。大型駐輪場整備の支援および管理運営を実施することで、今後も官民両方の視点で近隣地域の駐輪対策に取り組んでまいります。



05



「健康経営 優良法人2024」に認定

当社は、もっと明るく元気な会社を目指し、社員の心と身体の健康の保持・増進に向けた健康経営を推進しており、この度、経済産業省が定める健康経営優良法人認定制度※において、「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました。

引き続き、ワクワク・イキイキと働くことができる環境の整備に努め、グループビジョンに掲げる“Well-beingカンパニー”の実現を目指してまいります。

※地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度



06



IR/PR活動の強化

NCDグループでは、株主・投資家の皆さまとの建設的な対話を通じて中長期的な企業価値の向上を図ることを基本方針に、決算説明会の開催のほか、各種メディアへの出演や記事掲載など、様々なIR/PR活動を推進しています。

引き続き、認知拡大に向けた取り組みを積極的に検討、展開してまいります。

〇直近の主な活動状況

- ・東京MXテレビ「東京マーケットワイド」に出演(2024年1月)
- ・楽天証券の投資情報メディア「トウシル」に会社説明会動画を掲載(2024年1月)
- ・個人投資家向けWebメディア「いろはにマネー」に当社記事が掲載(2024年2月)

詳細は当社HPの「お知らせ一覧」をご覧ください。

<https://www.ncd.co.jp/news/>



07



QuizKnockとのタイアップ動画を作成

採用広報施策の一環として、東大クイズ王の伊沢拓司さん率いる東大発の知識集団「QuizKnock」とのタイアップ動画を作成しました。QuizKnockは「楽しいから始まる学び」をコンセプトに、何かを「知る」きっかけとなるような記事や動画を毎日配信し、若年層を中心に多くのファンを獲得しており、その視聴者層に対するNCDグループの認知拡大が主な目的です。

NCDグループの歴史や事業内容、今後のビジョンについて、多くの方々に楽しみながら知っていただける内容となっていますので、ぜひご覧ください。



QuizKnock会議中【サブチャンネル】「50年前の未来予想の答え合わせをしてみた」

<https://www.youtube.com/watch?v=WG5RUFdV9R8>



NCD採用公式チャンネル「【クイズ王伊沢×NCD下條社長対談】NCDが社員と共に目指す未来」

https://www.youtube.com/watch?v=VFV48AS_qW8



株主優待制度のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、以下の株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の内容（贈呈品：クオカード）

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
1,000株以上 3,000株未満	2,000円分	3,000円分
3,000株以上 5,000株未満	3,000円分	5,000円分
5,000株以上	5,000円分	7,000円分

対象となる株主様 毎年9月30日現在、当社株式を1,000株以上保有いただいている株主様

贈呈時期 12月初旬に発送

継続保有期間条件について

- ・年1回毎年9月末を基準日とし、同日付の当社株主名簿の記録により確認できる株主様を対象といたします。
- ・継続保有判定は、**半期ごと（毎年3月末および9月末）の当社株主名簿に、「同一の株主番号」で連続して7回以上記録された株主様**を、継続保有「3年以上」の対象といたします。
- ・「同一の株主番号」記録の連続性が中断された場合には、継続要件を満たさないものとして取り扱います。例えば、保有されていた当社株式の全部を一旦売却した後に、3月または9月の権利付き最終確定日までに株式を買い戻した場合などが該当します。

IRメール配信サービスのご案内



メール配信サービスに登録して、
IR情報をすばやくキャッチ！

ご登録はこちらから

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=4783>

三菱UFJ信託銀行株式会社が提供するサービスを利用しています。ウェブサイトに記載のご利用条件をご確認の上、ご利用をお願いします。



会社・事業紹介動画のご案内



当社HPにて
公開中！

ご視聴はこちらから

<https://www.ncd.co.jp/company/video/>

英語・中国語・韓国語にも対応しています。



会社概要

（2024年3月31日現在）

社名	NCD株式会社 （英文名称：NCD Co., Ltd.）
設立年月日	1967（昭和42）年3月16日
資本金	438,750,000円
従業員数	1,348名（連結） （注）上記人数には、契約社員、パートタイマー、嘱託契約の従業員および派遣社員を含みません。

役員

（2024年6月26日現在）

代表取締役社長	下條 治	執行役員	中根 純一
取締役（専務執行役員）	高木 洋	執行役員	苅辺 勉
取締役（専務執行役員）	加藤 裕介	執行役員	安藤 登志夫
社外取締役	宮田 晴雄	執行役員	菊地 貴人
社外取締役	安岡 正晃	執行役員	河崎 勇樹
取締役（常勤監査等委員）	小林 勇記	執行役員	後藤 紀子
社外取締役（監査等委員）	中山 かつお	執行役員	諸口 敦也
社外取締役（監査等委員）	奥野 滋		
社外取締役（監査等委員）	圓角 健一		

連結子会社

（2024年3月31日現在）

- NCDソリューションズ株式会社 ● NCDテクノロジー株式会社
- 株式会社ジャパンコンピューターサービス
- 天津恩馳徳信息系统開発有限公司（NCD CHINA）
- NCD プロス株式会社 ● NCD エスト株式会社

株主メモ	事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
	配当金受領株主確定日	毎年3月31日、9月30日
	株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 （証券コード4783）

NCD株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田四丁目32番1号
TEL 03-5437-1021
<https://www.ncd.co.jp/>



株主通信に関するお問い合わせ先 総務部 TEL 03-5437-1021

